

主要科目の目標、特長		
(人間学部 児童発達学科)		
授業科目の名称	目標	特長
教職入門	<p>1、日本における学校制度を理解できる。</p> <p>2、教育法規を理解できる。</p> <p>3、教育職員の職務内容と職責について理解できる。</p> <p>4、教育・保育実践について理解できる。</p> <p>5、保護者、地域、関連機関との連携について理解できる。</p> <p>6、幼児・児童の個人差とはどのようなものかを理解できる。</p>	<p>「人を教育することは至楽である」とは、教育者の真の喜びを言い表した名言であると同時に、教育の大切さ、教育者の責任の重大性をも指摘している言葉でもある。私たち人間は、教育を通して社会生活の基盤を育成し、期待される社会人として成長、発達していくと考えられている。本授業は教職とは何か、どんな意義と責任があるのか、学校教育における教員の役割やサービスの内容などについて理解し、自分の言葉で説明できるようになることを目標とする。</p>
保育内容の指導法(環境)	<p>幼児は、身の回りの環境に好奇心や探究心を持ち主体的に関わり、自分の生活や遊びに取り入れることを通して発達していくといわれる。保育者には、幼児が豊かな体験ができるよう意図的、計画的に環境を構成することが求められる。そこで保育内容「環境」では、具体的な保育実践において幼児がどのように環境に関わっていくのかという視点から、保育者の援助について理解していくことを目的とする。</p>	<p>授業は、主に講義・演習、ディスカッション、授業テーマにそった小レポート提出という内容で展開します。著書や学術論文からの知見を紹介したり、具体的な保育場面について紹介し、「環境」への理解を深めます。さらに学生同士のディスカッション等を取り入れ、互いの考えを分かち合います。</p>
教育心理学I	<p>人間の心理や行動を理解し、有効な教育実践を行う上での基本的知識を身につけることを目的にする。子どもの心身の発達及び学習の過程を、障害児をも含めて理解するために、誕生からの人間発達のメカニズムを知る。そして、発達段階における一般的な特徴を知り、過去の経験や学習が子どもの心身の発達ばかりなく、生涯にわたる発達にもどのように影響するのかを理解できる。</p>	<p>人格、適応、発達、学習、集団、評価などの様々な領域において、教育の影響性を視点に講義する。具体的事例をあげながら講義し、今日の教育現場で起きている諸問題について受講生とともに考える。</p>
幼児教育原理(保育原理)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児教育・保育とは何かを、子ども理解を基礎にして考えることが出来る。</li> <li>・幼児をとりまく現代社会の状況を知り、現代の教師・保育者に求められる役割を理解できる。</li> <li>・保育制度、学校制度、幼児教育・保育の歴史に関する知識を習得し、理解できる。</li> <li>・保育者の研修、自己評価、学校評価、第三者評価についての知識を習得し、理解できる。</li> </ul>	<p>講義形式ではあるが、随時学生の意見を聞きながら進める。また関連した映像、併設幼稚園の見学なども行う。また、常に保育・幼児教育に関する新聞記事、ニュースなどを良く見聞きし、現代社会で課題となっていることを理解しておくこと。</p>